

## 1 近年の平塚市における災害事例

### (1) 令和元年房総半島台風(2019年台風第15号)

□千葉県を中心に暴風により広範囲に被害が発生しました。

被害状況	
建物被害	屋根の損壊など 48件
農業被害	ビニールハウス、畜舎の破損
道路等被害	倒木、飛散物の落下等 102件

### (2) 令和元年東日本台風(2019年台風第19号)

□東日本の広範囲に河川氾濫等の被害が発生しました。

□城山ダムで運用開始以来初となる異常洪水時防災操作(緊急放流)を実施

□相模川神川橋水位観測所ではピーク水位が8.30mとなり観測史上最高水位となった。

被害状況	
建物被害	床上浸水 21件 床下浸水 39件 半壊1件、一部損壊114件
農業被害	ビニールハウス、畜舎の破損
停電被害	4,800戸



※本市を含む9市町1村(政令市を除く)に災害救助法が適応

## 1 近年の平塚市における災害事例

### (3) 令和3年7月3日 梅雨前線停滞による大雨

- 金目川で氾濫危険水位を大きく超過し、警戒レベル5緊急安全確保を発令
- 市内各地で道路冠水が発生

被害状況	
建物被害	床上浸水 14件 床下浸水 385件
道路被害等	通行止め13箇所 金目川護岸損傷



### (4) 令和4年1月15日 南太平洋諸島トンガ諸島火山噴火に伴う津波

- 平塚市含む相模湾・三浦半島予報区に津波注意報が発表

### (5) 令和4年3月16日 福島県沖地震

- 平塚市震度4
- 東京都、神奈川県の広域で一時停電(平塚市含む)

## 2 市民向け防災訓練の取組状況

### (1) 平塚市総合防災訓練

過去の災害の教訓を踏まえた実践型の「地震対応訓練」と市民参加体験型の防災啓発イベント「防災フェア」を実施し、自助・共助・公助の連携を強化すると共に、市民の防災・減災への意識の高揚を図り災害に強いまちづくりを推進した

○日 時: 令和4年8月27日(土)9時30分～12時00分

○参加団体: 延べ56団体

防災フェア

44団体

地震対応訓練(防災関係機関)

12団体

○参加者数: 約3,000人



## 2 市民向け防災訓練の取組状況

### (2) 令和4年度平塚市津波対策訓練(内閣府共催)

なでしこ地区自治会連絡協議会を対象に津波発生時の適切な避難行動の体得を目的に実施

□事前ワークショップ 10月16日 (なでしこ公民館 参加者34名)

避難経路や避難時間等を検討

□津波避難訓練 11月5日

(平塚工科高校、なでしこ小学校、平塚ガーデンホームズ 参加者計600人)

実際に避難場所までの避難行動を実施

避難訓練後は県立平塚工科高校で避難所設置の訓練を実施

□事後ワークショップ 12月18日 (なでしこ公民館 参加者34名)

訓練結果のまとめ



## 2 市民向け防災訓練の取組状況

### (3)市民向け訓練

自主防災組織や市内事業所、学校に職員が出向し資機材の取扱い訓練や図上訓練、ハザードマップの取扱いについての説明を実施

令和5年2月時点 自主防災組織179組織、市内事業所13事業所、市内学校14校に対して実施



## 3 庁内訓練等の取組

過去の災害事例での各種課題や令和元年東日本台風での本市の対応等を踏まえて災害対策本部の対応力強化に取り組んでいます。

### (1) 災害対策本部 災害対策戦略室訓練(図上訓練)

災害対策本部の補佐や災害対応の総合調整機関として設置される災害対策戦略室の対応力向上を目的としてブラインド型ロールプレイング方式で実施

#### □第1回目 6月1日

想 定:伊豆大島近海を震源とする地震(相模トラフ)

マグニチュード7.5 平塚市最大震度6強 5:24発生

訓練場面:発災3時間後～6時間後まで

参加者:計56名

戦略室運営要員(災害対策課、危機管理課、企画政策課、デジタル推進課、マイナンバー推進課、資産経営課、初期対応班)

関係課(消防部、医療救護部、避難部、土木復旧部)

平塚警察署

外部講師



## 3 庁内訓練等の取組

### (1) 災害対策本部 災害対策戦略室訓練(図上訓練)

□ 第2回目(神奈川県共催) 11月8日

第1回目と同一シナリオで実施。第1回目の参加者に加えて、神奈川県湘南地域県政総合センター、神奈川県総合防災センター(訓練講師、評価者)、災害時に本市へ派遣される市町連絡員(県職員)が参加

参加者計 61名



## 3 庁内訓練等の取組

- (2)物流訓練 ①6月13日 ②10月25日 ③3月下旬(予定)
- ①物資調達・輸送調整等支援システムの操作訓練の実施
  - ②机上訓練の実施(物流チームの立上げ、配送計画策定等)
  - ③実地訓練の実施(車両通行路の確保等、車両通行路の確保)



## (3)避難班等訓練(図上訓練) 10月25日

避難所と避難班本部(市役所)の情報受伝達体制の強化及び関係部班(避難行動要支援者班、物流チーム)の連携強化・対応力向上を目的としてロールプレイング方式で実施

想 定:伊豆大島近海を震源とする地震(相模トラフ)  
マグニチュード7.5 平塚市最大震度6強 11:00発生

訓練場面:発災2時間後～5時間後まで

参加者:計90名

避難班(教育総務課)、避難所配備職員、情報拠点配備職員

避難行動要支援者班(高齢福祉課、地域包括ケア推進課、障がい福祉課)

物流チーム(行政総務課、協働推進課、産業振興課)



## 3 庁内訓練等の取組

### (4) 課長級職員向け災害対応研修 11月24日・25日

熊本地震で被災した熊本県宇城市の当時の危機管理課長を講師として実施

参加者:計100名

### (5) 福祉避難所研修

熊本地震では災害による直接死より関連死が大きく上回ったことを踏まえ、災害時の要配慮者支援の強化を目的として実施。

市内福祉避難所9施設の職員及び避難行動要支援者班を対象に実施

講師:神奈川県理学療法士会 災害対策委員会 下田様

### (6) 避難所配備職員研修

昨年度から運用を変更した情報拠点の説明や本年度運用開始した避難所の開設・混雑情報配信サービス(VACAN Maps)の説明を実施し最新の情報を共有した。

また、新任のリーダー、サブリーダーには避難班から、基本的な避難所運営についての実施事項、注意事項を伝達した。

### (7) 行政基本講座(災害対応基礎知識)

防災部署以外の職員の意識啓発、知識習得と目的として、職員課主催の公募研修で防災の講座を開始



## 4 防災意識啓発の取組

### (1) YouTubeチャンネル『防災ひらつか』開設

コロナ禍で市民向け訓練の開催が困難な中、市民への防災知識啓発のために開始  
令和5年1月末時点 投稿動画 73本 総再生回数 14万6千回



### (2) 防災ひらつかTwitterによる平時の情報発信強化

緊急時の情報発信に加え、平時から防災に関する豆知識を発信



## 4 防災意識啓発の取組

### (3)防災ピクニック

市民提案型協働事業として令和元年からNPO法人ママプラグと実施し、令和4年度から市単独事業として継続

災害発生時に災害弱者になり得る乳幼児連れ、子ども、子どもの保護者を対象に防災講話、地震体験、備蓄食の試食等をピクニック形式で実施



### (4)自然災害伝承碑

過去の地震や洪水、土砂災害などの自然災害が起きたことが記されている石碑等を、地域住民の防災意識の啓発等を目的に国土地理院に登録をしました。

□大震災歿死者供養塔(平塚市札幌町15-42 長楽寺)

関東大震災

□震災遭難者之霊(平塚市平塚2丁目20 大鷲神社)

関東大震災

□河身改修耕地整理竣工記念碑(平塚市南金目 県道63号南金目交差点付近)

明治43年の大水害(金目川氾濫)



## 4 防災意識啓発の取組

### (5)防災さんぽ

防災に観光的視点を取り入れた、ガイドツアー型の「防災×まちの魅力発見イベント」

□みなと編 令和4年3月26日

大震災犠死者供養塔や相模川  
及び河口周辺で実施



みなと編

□金目川編 令和4年12月11日

河身改修耕地整理竣工記念碑や  
金目川周辺で実施



金目川編

□平塚宿編 令和5年3月26日(予定)

震災遭難者之霊や旧東海道(平塚宿)  
の周辺で実施

### (6)各種イベントでの啓発

湘南ひらつかタマ三郎周遊船、SunSunマルシェ、ひらつな祭、地どれ魚直売会等で  
地震体験車やハザードマップの配布等により啓発を実施

## 5 平塚市国土強靱化地域計画策定 令和4年2月

大規模自然災害が起きても機能不全に陥らず、市民の生命・財産を守れるよう、本市における国土強靱化に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための指針となる計画として、平塚市国土強靱化地域計画を策定

本計画は平塚市総合計画と整合を図り、平塚市地域防災計画を含む各分野の個別計画の強靱化に関する指針となります。

## 6 平塚市災害時受援計画策定 令和2年3月

大規模な自然災害等の発生時においては、全国から被災自治体に対して様々な支援が行われていますが、受入れ体制が十分に整備されておらず、効果的な支援に結びつかなかったという事例がありました。本市において、協定団体等の外部機関から人的支援、物的支援の受入れ体制を迅速に確立し、円滑に災害対応を行うために、平塚市災害時受援計画を策定

## 7 国・県の取組

### (1)国

- ・災害対応のデジタル化
- ・南海トラフ地震防災対策
- ・ぼうさいこくたい2023(神奈川県内で実施) 等

### (2)県

- ・神奈川県水防災戦略(令和2年2月作成)
- ・関東大震災100年事業

## 8 平塚市の今後の取組

### (1) 市職員の対応力強化・関係機関連携強化

- ・防災部門以外の職員の防災意識啓発
- ・避難所対応、物資対応、被災者支援関連業務(り災証明等)等の主要災害対応業務の対応力強化
- ・協定事業者等との連携強化を図るため、災害時の連携方法の確認や各種訓練の実施

### (2) BCP(業務継続計画)の実効性向上の取組

- ・非常時優先業務等の考え方の整理し、BCPの実効性を高める

### (3) 災害対策本部組織の見直し

- ・的確な災害応急対策を迅速かつ円滑に実施できる体制を検討
- ・平時の業務体制から災害応急対策業務をベースとした組織体制(組織横断型体制)  
(厚生労働省も令和4年7月に災害発生時、保健・医療・福祉の連携の重要性を鑑みて「保健医療福祉調整本部」とした)